

青森で生きる未来人財育成事業 ボランティアチーム養成講座【第4回】

7月10日(日)14:00~15:00 県総合社会教育センターより配信 受講者77名

1 趣旨

高校生を、地域で行われる子どものための活動に派遣して異年齢交流を図り、自己肯定感や主体性を高める。

2 内容 【講義】「実践！ボランティア活動」

日本赤十字社青森県支部 主事 岩井 雄太郎 氏



3 講義要旨

- 日本赤十字社の活動は多種多様ですが、大きく分けて9つの活動があります。それは、国内災害救護、国際活動、医療事業、看護師養成、青少年赤十字、講習普及、血液事業、赤十字ボランティア、社会福祉です。
- ボランティア活動とは、自発的な意志に基づき、他人や社会に貢献する行為です。ボランティア活動のあり方について考えてみましょう。
- ボランティアを実践するために、「相手のニーズに**気づく**」「ニーズの達成のために必要なことを**考える**」「考えた計画を**実行する**」の3つのサイクルを大切にしましょう。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	89%	どちらかと言えば満足	11%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- 今まではボランティアに対し、自分の成長になるものという捉え方をしていましたが、今回の講義を聞いて、自己満足になっていないか、周りのために役立つものなのか、しっかりと考えてボランティアをしようと思いました。
- 献血から派生したボランティアや献血以外のボランティアもあると知り、そちらの活動にも興味が湧きました。15歳を迎えたら献血に協力するだけではなく、赤十字社の別の活動にも参加したいと思いました。
- あまり知らなかった日本赤十字社の歴史や行っている活動、特に献血のことについてこと細かく知ることができ、その活動を通してのボランティア活動の意味や必要なこと、そして活動を行う際に最も気を付けなければいけないこと等をしっかりと考えることができました。また、講座後のフリートークを通して、講師の先生や講義を受けている他校の人と、講義で話した内容の振り返りやその他のさまざまな事に関して、コミュニケーションを取ることができました。
- 今回の講座では、「ニーズ」の重要性についての話が一番心に残りました。私は、困っている人がいたら、考えるよりもまず行動しなくてはとってしまうタイプなので、相手のニーズについてよく考えられていなかったと思います。これからは、本当に必要とされることは何か、よく考えてから行動したいです。ボランティアは、何のために行われるのか、今回学んだことを心に留めてこれからのボランティア活動を頑張りたいです。

第4回の講座では、日本赤十字社の様々な活動を知ることによって、ボランティア活動の種類や内容を詳しく学ぶことができました。また、ボランティア活動をする上で気をつけなければならないことや、大切にしなければいけないことについて、改めて理解できる講座となりました。